

事 務 連 絡
令和 5年 8月 17日

各事務所 事務局長 殿

都府県地区軽自動車協会 専務理事 殿

全軽自協 事業部長

軽自動車の電子車検証に関する情報等の軽自動車検査協会ホームページへの
掲載について（情報提供）

今般、軽自動車検査協会より、同協会ホームページに軽自動車の電子車検証に関する
情報等を追加した旨の連絡がありましたので、お知らせ致します。（別紙参照）
なお、必要に応じて会員ディーラー等への展開をお願い致します。

自動車検査証の電子化



[2023年8月16日 更新]

このページに掲載されている情報

- ▶ 自動車検査証の電子化について
- ▶ 各種帳票等に表示する二次元コード仕様書について
- ▶ 車検証閲覧アプリについて
- ▶ 特定記録等事務委託制度について

自動車検査証の電子化について

令和6年1月から、軽自動車（検査対象軽自動車）について、電子化された自動車検査証（電子車検証）の交付が始まります。あわせて、国土交通省で導入されている「車検証閲覧アプリ」において、軽自動車も利用可能となります。

▶ 軽自動車の自動車検査証の電子化に関する情報
PDFファイル [4.59 MB]

追加（参考1）

▶ 電子車検証のイメージ
PDFファイル [454.57KB]

令和5年1月から、国土交通省において交付されている電子車検証について、特設サイトが設けられておりますので、参考にご覧ください。

▶ 国土交通省（電子車検証特設サイト）
外部ページへのリンク

各種帳票等に表示する二次元コード仕様書について

令和6年1月からの軽自動車の電子車検証やその他証明書等に表示する二次元コードの仕様に関する情報になります。

▶ 二次元コード仕様書
PDFファイル [56.16KB]

（参考2）

追加

車検証閲覧アプリについて

国土交通省で導入されている「車検証閲覧アプリ」において、令和6年1月から軽自動車の電子車検証の閲覧も可能となります。また、車検証情報取込ファイルの出力（JSON,XML,CSV形式）でOSS申請や各社システムでの利活用ができます。使用方法や取込ファイル仕様等は国土交通省の電子車検証特設サイトをご覧ください。

▶ 国土交通省（電子車検証特設サイト内の車検証閲覧アプリ説明サイト）
外部ページへのリンク

追加

特定記録等事務委託制度について

当協会から委託を受けた方（記録等事務代行者）が申請代理人を介して継続検査の申請手続きをOSS申請（電子申請）で行った場合、当協会の窓口に向くことなく電子車検証の更新（有効期間の記録）等の事務を行うことができる制度です。詳しい内容につきましては、下記のリンクをご確認ください。

▶ 特定記録等事務委託制度
関連ページへのリンク

検査対象軽自動車の自動車検査証の電子化について

令和6年1月～

3. 車検証券面記載の新規項目について

内容

- ① 電子車検証発行年月日 電子車検証を発行した日付が印字される(紙の車検証の時は検査記録日が印字)。
- ② 電子車検証管理番号 電子車検証ごとに付与される13桁の番号(登録車は12桁)。
- ③ 車両ID 車両に対して初めて電子車検証が発行される際に付す14桁の固有の識別番号。(当協会がはじめて付与する車両の場合は先頭1文字目が「K」となる。登録車の場合は「J」。) 既存の車両にも、紙の車検証から電子車検証への切替え時に自動的に付与する。車両番号や所有者が変わっても車両を識別することが可能となる。
- ④ セキュリティコード 閲覧アプリ使用時に必要となる4桁の番号。

自動車検査証 ①

令和 6年 1月 4日 軽自動車検査協会 ② 0401123456789

車台番号 練馬 580 あ 4249	自動車の種別 軽自動車	用途 乗用	自家用・事業用の別 乗用	型式記号 12345	追加記号 6789
ケイケン	箱型	車体の形状			
ABC-1234567	ガソリン	燃料の種類	総排気量又は定格出力 0.65 l		
DEF	型式	原動機の型式	前軸重 440 kg	後軸重 440 kg	高さ 169 cm
4人	最大積載量	車両総重量 1100 kg	長さ 339 cm	幅 147 cm	169 cm

軽検 太郎 使用者の氏名又は名称

備考
ハイブリッド車, 平成28年騒音M1A1A 73dB 3, 750rpm (旧) 4, 875rpm

裏面もご確認ください。

この裏面には電子部品 (ICチップ) を内蔵したICタグがありますので、大切に使用・保管してください。

④ 1234

みほん

③ K1234AA1234567

ICタグがあるため、折れ曲げ厳禁

4. 電子車検証の券面に表示する二次元コードについて

- 電子車検証券面に変更がなく、ICタグ内の情報のみを書換える場合、電子車検証交付時に券面に表示した二次元コードの情報が最新の情報ではなくなり、ICタグ内の情報と二次元コード内の情報に乖離が生まれることから、書換えられる可能性がある情報に関しては、二次元コードに格納することができません。
- また、電子車検証※のサイズおよび欄外印刷可能領域の小型化により、現状の自動車検査証欄外に表示している全ての二次元コードを表示することが困難となります。

上記を踏まえ、先行して導入している登録車の電子車検証券面に表示されている二次元コードと同等程度の情報が格納されたコード2及びコード3を車検証券面に表示することになります。

※自動車検査証が対象。自動車検査証以外の証明書（例：自動車予備検査証etc...）は電子化対象外であり、コード3に一部の仕様変更が入る（次ページ以降に詳細記載）ものの、現行と同等の二次元コードを表示。

自動車検査証電子化前

番号	00001	自動車検査証	平成31年1月4日	軽自動車検査協会	0401123456789
軽自動車	580 あ 1234	平成31年1月4日	乗用	自動車	型式番号
H82W-123456	4.1	880mm	1100mm	320mm	147mm
DBA-H82W	3G83	ガソリン	0.65	440mm	440mm
氏名又は名称	軽自動車 一部	軽自動車	乗用	自動車	型式番号
住	東京都港区/住1-1	東京都港区	住1-1	東京都港区	住1-1
氏名又は名称	使用済	使用済	使用済	使用済	使用済
住	東京都港区/住1-1	東京都港区	住1-1	東京都港区	住1-1
使用の本拠の位置	使用済	使用済	使用済	使用済	使用済
有効期間満了する日	平成33年1月4日	平成33年1月4日	平成33年1月4日	平成33年1月4日	平成33年1月4日
平成	33	年	1	月	4
年	月	日	年	月	日
年	月	日	年	月	日
年	月	日	年	月	日

OCRC01-0001

自動車検査証電子化後

番号	580 あ 4249	令和6年1月1日	軽自動車検査協会	0401123456789	
軽自動車	580 あ 4249	令和6年1月1日	乗用	自動車	
型式	ABC-1234567	DBA-ABC	DEF	ガソリン	
最大積載量	880kg	全長	3390mm	全幅	1470mm
全高	1690mm	軸間	1400mm	全高	1690mm
軽自動車	一部	軽自動車	乗用	自動車	
東京都港区	住1-1	東京都港区	住1-1	東京都港区	住1-1
使用済	使用済	使用済	使用済	使用済	
平成	33	年	1	月	4
年	月	日	年	月	日
年	月	日	年	月	日
年	月	日	年	月	日

ICタグ

QRコード

QRコード

1234

※コード3については、車検の有効期間満了日が格納されており、書換え対象情報となり、ダミー値(999999)を設定します(登録車と同様の仕様)。ただし、自動車検査証以外の証明書はこれまで同様の値を設定します(変更なし)。詳細はスライド6に記載。

6. 令和6年1月以降の自動車検査証返納証明書について



○ 「自動車検査証返納」後においては、閲覧アプリのオンラインによる閲覧が不可となります。新たに新規(中古)検査にて使用過程車両となる際等の情報連携の活用を可能とするため、返納証明書に車両のライセンスサイクルを通して不変となる「車両ID」を格納した新たな二次元コードの「コード7」を追加します。

番号 01462 自動車検査証返納証明書 令和5年6月20日 軽自動車検査協会

岡山 581 あ 568	交付年月日 令和5年6月20日	返納年月日 令和5年6月	自賠責の種別 軽自動車	用途 乗用	自家用	車種 乗用車	型式 MH55S-2023062001	型式番号 1060	重量 339kg	容積 147L	長さ 165cm
MH55S-2023062001			車種 軽自動車	用途 乗用	自家用	車種 乗用車	型式番号 MH55S-2023062001	重量 330kg	容積 1845L	長さ 165cm	
スズキ			型式 DAA-MH55S	燃料の種別 ガソリン	重量 510kg	容積 1845L	型式番号 0602				
氏名又は名称 軽検 太郎											
住 所 岡山県久米郡美咲町高城											
氏名又は名称 使用者に同じ											
住 所 使用者住所に同じ											
使用の本拠の位置 使用者住所に同じ											
有効期間の満了する日 令和5年6月19日											

備考 【岡山】 返納 令和2年度燃費基準123%達成車 平成27年度燃費基準20%向上達成車 ハイブリッド自動車**
平成28年適用税額 軽自動車 軽自動車M1A1A / 近接衝突耐性値73dB / 測定回転数3,750rpm*
(旧基準適用時測定回転数4,875rpm)*
令和12年度エネルギー消費効率(WLTCモード燃費) 測定未了 令和2年度エネルギー消費効率(WLTCモード燃費) 測定未了**

OCR01-0313
R94678E3418202

コード7 1 2 3 4 5 6 7

(参考) 電子車検証券面の二次元コード2の仕様

コード2：変更なし

注意：今後の機能改修等により本仕様は予告なく変更する場合があります。

No.	項目名	全角/ 半角	可変/ 固定	サイズ	設定値
1	システムID	半角	固定長	1桁	"K"固定 △：全角スペース ▲：半角スペース
2	バーション番号	半角	固定長	2桁	"22"固定
3	車両番号	全角	固定長	12桁	<p>中板の場合 標板文字 + 分類番号 + かな文字 + 一連番号を設定する 小板の場合 分類番号 + 標板文字 + かな文字 + 一連番号を設定する</p> <p>標板文字が4桁に満たない場合は全角スペース埋め マスタから標板文字の取得に失敗した場合全角スペース埋め 分類番号が3桁に満たない場合は全角スペース埋め 一連番号が4桁に満たない場合は全角スペース埋め</p>
4	標板の枚数・大きさ	半角	固定長	1桁	<p>転入返納の場合"-"を設定する 1：中板・2枚・ペイント、2：小板・2枚・ペイント、3：中板・1枚・ペイント 4：小版・1枚・ペイント、5：中板・2枚・字光、6：小板・2枚・字光 7：中板・1枚・字光、8：小版・1枚・字光 ※希望番号の場合は1→A、2→B、3→C、4→D、5→E、6→F、7→G、8→Hとなる</p>
5	車台番号	半角	固定長	20桁	職権打刻車台番号の場合は先頭の2桁を[]で囲む
6	原動機型式	半角	可変長	24桁	<p>諸元マスタの取得に失敗した場合は"***"を設定する 原動機型式が存在しない場合は"-"を設定する 職権打刻の場合は先頭の2桁を[]で囲む 不明の場合は"*FUMEI"を設定する (平成30年4月の機能改修により12桁から24桁に変更)</p>
7	帳票種別	半角	固定長	1桁	1：自動車検査証、2：予備検査証、3：限定検査証、4：返納証明書 上記以外の場合は未設定

補足：二次元コード内の各項目の区切り文字として、半角スラッシュ(/)を格納するため、データサイズ合計は最大67となる。(現行から変更なし)

(参考) 電子車検証券面の二次元コード3の仕様①

コード3 : 一部変更あり(変更箇所は黄色網掛け部分が該当)

注意: 今後の機能改修等により本仕様は予告なく変更する場合があります。

No.	項目名	全角/ 半角	可変/ 固定	サイズ	設定値
1	システムID	半角	固定長	1桁	"K"固定
2	バージョン番号	半角	固定長	2桁	"32"固定
3	車台番号打刻位置	半角	固定長	3桁	備考情報の車台番号打刻位置を設定、未設定の場合は"-▲▲"を設定
4	型式指定番号・ 類別区分番号	半角	固定長	9桁	型式車の場合のみ設定、それ以外は未設定
5	有効期間満了日	半角	固定長	6桁	電子車検証券面表示の二次元コードでは、ダミー値(999999)を設定する。
6	初度検査年月	半角	固定長	4桁	YYMM(元号2桁+月)、未設定の場合は"9999"を設定
7	型式	半角	可変長	20桁	諸元マスタの取得に失敗した場合は"***"を設定する 型式が存在しない場合は"- "を設定する 改造車の場合型式+"*K"、型式が存在しない場合は"*K"を設定する 試作車の場合型式+"*S"、型式が存在しない場合は"*SHISAKU"を設定する 組立車の場合"KUMITATE"を設定する 不明の場合"*FUMEI"を設定する
8	前軸重	半角	固定長	4桁	諸元マスタ取得失敗の場合"***▲"を設定する 未設定の場合"-▲▲▲"を設定する 10kg単位で設定し、4桁に満たない場合は先頭0埋め(550kgの場合は0055)
9	前後軸重	半角	固定長	1桁	"-"固定
10	後前軸重	半角	固定長	1桁	"-"固定
11	後後軸重	半角	固定長	4桁	諸元マスタ取得失敗の場合"***▲"を設定する 未設定の場合"-▲▲▲"を設定する 10kg単位で設定し、4桁に満たない場合は先頭0埋め(550kgの場合は0055)
12	騒音規制	半角	固定長	2桁	備考情報の騒音規制区分を変換(詳細は8スライド目に記載)
13	近接排気騒音規制値	半角	固定長	3桁	備考情報の近接排気騒音規制値を設定(詳細は8スライド目に記載)
14	駆動方式	半角	固定長	1桁	"-"固定
15	オパシメータ測定車	半角	固定長	1桁	"-"固定
16	NOxPM測定モード	半角	固定長	1桁	"-"固定
17	NOx値	半角	固定長	4桁	"-▲▲▲"固定
18	PM値	半角	固定長	5桁	"-▲▲▲▲"固定
19	燃料の種類コード	半角	固定長	2桁	燃料の種類コードを設定する(詳細は8スライド目に記載)
-	予備項目	半角	固定長	3桁	"999"固定(詳細は8スライド目に記載)

補足: 二次元コード内の各項目の区切り文字として、半角スラッシュ(/)を格納するため、データサイズ合計は最大96となる。(現行から変更なし)

(参考) 電子車検証券面の二次元コード3の仕様②

コード3のNo.12、13、19、-の補足

No.	項目名	現行 (紙車検証) の設定内容 ▲:半角スペース	R6.1更改後 (電子車検証) の設定内容 ▲:半角スペース
12	騒音規制	"-▲"を設定	備考情報の騒音規制区分を変換平成10年騒音規制適合車の場合:"10"平成11年騒音規制適合車の場合:"11"平成12年騒音規制適合車の場合:"12"平成28年騒音規制適合車の場合:"28"騒音規制対象外車の場合:"-▲"
13	近接排気騒音規制値	"-▲▲"を設定	備考情報の近接排気騒音規制値を設定※3桁未満の場合先頭0埋め 近接排気騒音規制値がない場合"-▲▲"
19	予備項目 →燃料の種類コード	"999999"を設定	型式車は諸元マスタの燃料種類コード、一般車は一般車諸元テーブルの燃料種類コード (OCRコード) を取得して2桁のOCRコードを設定する。 01 ガソリン 02 軽油 03 L P G 04 灯油 05 電気 06 ガソリン・L P G (併用式) 07 ガソリン・灯油 (併用式) 08 メタノール 09 C N G 11 L N G 12 A N G 13 圧縮水素 14 ガソリン・電気 15 L P G・電気 17 ガソリン L P G (切替式) 18 ガソリン 灯油 (切替式) 99 その他 -- -
-	-	-	残り3桁が予備項目 (999を設定)

(参考) 令和6年1月以降の二次元コードの形式

① 電子車検証に記載される二次元コードの形式

コード名称	コード分割数	誤り訂正率	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード2	1 (分割なし)	M (15%)	0.40	5 (セル数(37×37))
コード3	1 (分割なし)	M (15%)	0.40	5 (セル数(37×37))

② 電子車検証以外に記載される二次元コードの形式(形式変更なし)

コード名称	コード分割数	誤り訂正率	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード1	1 (分割なし)	Q (25%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード2	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード3	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード4	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード5	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード6	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))

③ 自動車検査証返納証明書に追加される二次元コードの形式(新規)

コード名称	コード分割数	誤り訂正率	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード7	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))

各二次元コード共通事項として、二次元コードの形式はQRコード(JIS-X-0510)となります。

制定年月日	2023.08.16
改訂年月日	初版
適用年月日	2024.01.04

各帳票に表示する二次元コードの仕様書

軽自動車検査協会

【本仕様書ご利用に当たっての注意事項】

- ・ 内容の変更

本仕様書の内容は、当協会の都合により予告なく変更される場合があります。

- ・ 著作権

本仕様書の内容は著作権の対象となっています。著作権は、日本国著作権法及び国際条約により保護されています。

ただし、このことは、ソフトウェア開発者がこの仕様に基づいた供給者ソフトウェアを開発し、市場に供給することを妨げるものではありません。

- ・ 免責事項

本仕様書の内容の正確性については万全を期していますが、軽自動車検査協会は、この仕様書に含まれる情報の利用に伴って発生した不利益や問題について、誰に対しても何ら責任を負うものではありません。

1. 二次元コードの形式等

二次元コードの形式はQRコード（JIS-X-0510）とする。

① 自動車検査証（電子）に表示する二次元コードの形式

コード名称	コード分割数	誤り訂正率	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード2	1 (分割なし)	M (15%)	0.40	5 (セル数(37×37))
コード3	1 (分割なし)	M (15%)	0.40	5 (セル数(37×37))

② 自動車検査証（電子）以外に表示する二次元コードの形式

コード名称	コード分割数	誤り訂正率	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード1	1 (分割なし)	Q (25%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード2	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード3	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード4	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード5	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード6	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード7	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))

2. 各帳票における二次元コード表示有無

帳票名	二次元コード番号						
	1	2	3	4	5	6	7
自動車検査証（紙） 令和5年12月まで	○	○	○	○	○	○	—
自動車検査証（電子） 令和6年1月から	—	○	○	—	—	—	—
限定自動車検査証	○	○	○	○	○	○	—
自動車予備検査証	○	○	○	○	○	○	—
自動車検査証返納証明書	○	○	○	○	○	○	○
輸出予定届出証明書	○	—	—	—	—	—	—
検査記録事項等証明書	○	—	—	—	—	—	—
検査記録事項等証明書（現在記録）	○	—	—	—	—	—	—
自動車検査証記録事項	—	○	○	—	—	—	—

3. 格納情報

二次元コード中、各項目の区切り文字として、半角スラッシュ（ / ）を格納する。

【コード1】

項番	内容	固定／可変	桁数	記事
1	システム ID	固定	半角1	“K”を設定する。
2	バージョン 番号	固定	半角2	“02”を設定する。
3	輸出整理番号	固定	半角16	輸出予定届出証明書の場合、輸出整理番号を設定する。 その他の帳票の場合、空欄を設定する。
4	車両番号	固定	全角12	車両番号を設定する。 ※中板の場合、標板文字（4桁）＋分類番号（3桁）＋かな文字（1桁）＋一連番号（4桁）の順に設定する。 (例)品川△△40△あ△△△1 ※小板の場合、分類番号＋標板文字＋かな文字＋一連番号の順に設定する。 (例)40△品川△△あ△△△1 ※予備検査証番号の場合、標板文字＋“△△△”＋かな文字＋一連番号の順に設定する。 (例)品川△△△△△F△△12
5	車台番号	固定	半角20	車台番号を設定する（左詰）。 (例)ABCDE-01234567 ※職権打刻の場合、先頭2桁を [] で囲んだ値を設定する。
6	型式指定番号 類別区分番号	固定	半角9	型式指定番号・類別区分番号を設定する。 (例)123451234 ※一般車の場合は、空欄を設定する。

△：全角スペース ▲：半角スペース

【コード2】

項番	内容	固定／可変	桁数	記事																											
1	システム ID	固定	半角1	“K”を設定する。																											
2	バージョン 番号	固定	半角2	“22”を設定する。 (1桁目はコード番号、2桁目は改定番号)																											
3	車両番号	固定	全角12	車両番号を設定する。 ※中板の場合、標板文字(4桁)+分類番号(3桁)+かな文字(1桁)+一連番号(4桁)の順に設定する。 (例)品川△△40△あ△△△1 ※小板の場合、分類番号+標板文字+かな文字+一連番号の順に設定する。 (例)40△品川△△あ△△△1 ※予備検査証番号の場合、標板文字+“△△△”+かな文字+一連番号の順に設定する。 (例)品川△△△△△F△△12																											
4	標板の枚数・ 大きさ	固定	半角1	標板の大きさ、枚数、および、字光/ペイント、一般払出番号/希望番号の組み合わせで設定する。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">設定値</td> <td style="text-align: center;">:</td> <td style="text-align: center;">分類</td> </tr> <tr> <td>1 (希望番号の場合はA)</td> <td>:</td> <td>中板・2枚・ペイント</td> </tr> <tr> <td>2 (希望番号の場合はB)</td> <td>:</td> <td>小板・2枚・ペイント</td> </tr> <tr> <td>3 (希望番号の場合はC)</td> <td>:</td> <td>中板・1枚・ペイント</td> </tr> <tr> <td>4 (希望番号の場合はD)</td> <td>:</td> <td>小板・1枚・ペイント</td> </tr> <tr> <td>5 (希望番号の場合はE)</td> <td>:</td> <td>中板・2枚・字光</td> </tr> <tr> <td>6 (希望番号の場合はF)</td> <td>:</td> <td>小板・2枚・字光</td> </tr> <tr> <td>7 (希望番号の場合はG)</td> <td>:</td> <td>中板・1枚・字光</td> </tr> <tr> <td>8 (希望番号の場合はH)</td> <td>:</td> <td>小板・1枚・字光</td> </tr> </table> 予備検査証番号および転入返納番号の場合、“-”を設定する。	設定値	:	分類	1 (希望番号の場合はA)	:	中板・2枚・ペイント	2 (希望番号の場合はB)	:	小板・2枚・ペイント	3 (希望番号の場合はC)	:	中板・1枚・ペイント	4 (希望番号の場合はD)	:	小板・1枚・ペイント	5 (希望番号の場合はE)	:	中板・2枚・字光	6 (希望番号の場合はF)	:	小板・2枚・字光	7 (希望番号の場合はG)	:	中板・1枚・字光	8 (希望番号の場合はH)	:	小板・1枚・字光
設定値	:	分類																													
1 (希望番号の場合はA)	:	中板・2枚・ペイント																													
2 (希望番号の場合はB)	:	小板・2枚・ペイント																													
3 (希望番号の場合はC)	:	中板・1枚・ペイント																													
4 (希望番号の場合はD)	:	小板・1枚・ペイント																													
5 (希望番号の場合はE)	:	中板・2枚・字光																													
6 (希望番号の場合はF)	:	小板・2枚・字光																													
7 (希望番号の場合はG)	:	中板・1枚・字光																													
8 (希望番号の場合はH)	:	小板・1枚・字光																													
5	車台番号	可変	半角20	車台番号を設定する。 (例)ABCDE-01234567 ※職権打刻の場合、先頭2桁を [] で囲んだ値を設定する。																											
6	原動機型式	可変	半角24	原動機型式を設定する。 (例) TN360E [41]12-AB12 ※職権打刻の場合、先頭2桁を [] で囲んだ値を設定する。 ※不明の場合、“*FUMEI”とする。 ※存在しない場合は、“-”とする。																											

7	帳票種別	固定	半角 1	<p>出力帳票の種別を設定する。</p> <p>設定値 : 帳票名</p> <p>1 : 自動車検査証</p> <p>2 : 自動車予備検査証</p> <p>3 : 限定自動車検査証 (その1)</p> <p>4 : 自動車検査証返納証明書</p>
---	------	----	------	--

△ : 全角スペース ▲ : 半角スペース

【コード3】

項番	内容	固定／可変	桁数 (バイト数)	記事
1	システム ID	固定	半角 1	“K” を設定する。
2	バージョン 番号	固定	半角 2	“32” を設定する。 (1桁目はコード番号、2桁目は改定番号)
3	車台番号 打刻位置	固定	半角 3	車台番号打刻位置をコードで設定する。 (例) 123 ※原簿ファイルに車台番打刻位置が設定されていない場合、“-▲▲” を設定する。
4	型式指定番 号 類別区分番 号	可変	半角 9	型式指定番号・類別区分番号を設定する。 (例) 123451234 ※一般車の場合は、設定しない。
5	有効期間 満了日	固定	半角 6	自動車検査証の場合、“999999”を設定する。 自動車検査証以外の場合、有効期間満了日(YYMMDD(西暦下2桁月日))を設定する。 (例) 090401 ※未設定の場合は、“999999”を設定する。
6	初度検査年 月	固定	半角 4	西暦下2桁十月2桁で設定する。 (例) 0904 ※未設定の場合は、“9999”を設定する。 ※月のみ未設定の場合は、西暦下2桁+“99”を設定する。
7	型式	可変	半角 20	型式を設定する。 (例) TN360E ※試作車の場合、“*SHISAKU”とする。 ※試作車の場合(通常の型式の末尾につく場合)、型式+“*S”とする。 ※組立車の場合、“*KUMITATE”とする。 ※不明の場合、“*FUMEI”とする。 ※改造車の場合、型式+“*K”とする。
8	軸重(前前)	固定	半角 4	軸重(前前)を設定する(10kg単位)。 (例) 0123 (1230kg) ※型式車の場合、諸元ファイルの前前軸重を設定する。 ※一般車の場合、原簿ファイルの前軸重を設定する(1の位は切捨て)。 ※設定されていない場合は、“-▲▲▲”とする。
9	軸重(前後)	固定	半角 1	“-”を設定する。
10	軸重(後前)	固定	半角 1	“-”を設定する。

11	軸重（後後）	固定	半角 4	<p>軸重（後後）を設定する（10kg単位）。</p> <p>（例）0123 （1230kg）</p> <p>※型式車の場合、諸元ファイルの後後軸重を設定する。</p> <p>※一般車の場合、原簿ファイルの後軸重を設定する（1の位は切捨て）。</p> <p>※設定されていない場合は、“-▲▲▲”とする。</p>
12	騒音規制	固定	半角 2	<p>騒音規制区分を設定する。</p> <p>平成 10 年騒音規制適合車の場合：“10”</p> <p>平成 11 年騒音規制適合車の場合：“11”</p> <p>平成 12 年騒音規制適合車の場合：“12”</p> <p>平成 28 年騒音規制適合車の場合：“28”</p> <p>騒音規制対象外車の場合：“-▲”</p>
13	近接排気 騒音規制値	固定	半角 3	<p>近接排気騒音規制値を設定する。</p> <p>（例）096</p> <p>※3桁未満の場合先頭0埋め</p> <p>近接排気騒音規制値がない場合“-▲▲”</p>
14	駆動方式	固定	半角 1	“-”を設定する。
15	オパシメータ 測定車	固定	半角 1	“-”を設定する。
16	NOx・PM 測定モード	固定	半角 1	“-”を設定する。
17	NOx値	固定	半角 4	“-▲▲▲”を設定する。
18	PM値	固定	半角 5	“-▲▲▲▲”を設定する。

19	燃料の種類 コード	固定	半角 2	燃料種類コード (OCR コード) を設定する。 01 : ガソリン 02 : 軽油 03 : L P G 04 : 灯油 05 : 電気 06 : ガソリン・L P G (併用式) 07 : ガソリン・灯油 (併用式) 08 : メタノール 09 : C N G 11 : L N G 12 : A N G 13 : 圧縮水素 14 : ガソリン・電気 15 : L P G・電気 16 : 軽油・電気 17 : ガソリン L P G (切替式) 18 : ガソリン 灯油 (切替式) 99 : その他 - : -
20	予備項目	固定	半角 6	“999999” を設定する。

△ : 全角スペース ▲ : 半角スペース

【コード4】

項番	内容	最大桁数	記事
1	システム ID	半角 1	“K” を設定する。
2	バージョン 番号	半角 2	“51” を設定する。 (1 桁目はコード番号、2 桁目は改定番号)
3	使用者氏名	全角 3 5	使用者氏名 (低水準) の先頭 3 5 桁を設定する。 ※QRコードが高水準文字に対応していないため、使用者氏名 (低水準) を設定する。 ※所有者ファイル索引エラーの場合は、“*” (全角アスタリスク) を設定する。 ※設定されていない場合は、“-” (全角ハイフン) とする。

【コード5】

項番	内容	最大桁数	記事
1	システム ID	半角 1	“K”を設定する。
2	バージョン 番号	半角 2	“61”を設定する。 (1桁目はコード番号、2桁目は改定番号)
3	使用者住所	全角 3 5	<p>検査証出力用に編集した使用者住所の先頭 3 5 桁を設定する。 (丁目、番地等を含む)</p> <p>※所有者ファイル、住所ファイル、PMOファイル索引エラーの場合は、“*” (全角アスタリスク)を設定する。 ※番地例外表示ファイル索引エラーの場合は、“*” (全角アスタリスク)を付して [] 内にそのコードを設定する (すべて全角)。</p> <p>例：静岡県沼津市旭町1丁目34* [¥200]</p> <p>※35桁目がコード途中でも36桁以降は切り捨てる</p> <p>例：愛知県海部郡十四山村竹田新田東堤善太川通東堤防横内法1丁目34* [¥200] (38桁) →愛知県海部郡十四山村竹田新田東堤善太川通東堤防横内法1丁目34* [¥2 (35桁)</p> <p>※設定されていない場合は、“-” (全角ハイフン)とする。</p>

【コード6】

項番	内容	最大桁数	記事
1	システム I D	半角 1	“K”を設定する。
2	バージョン 番号	半角 2	“71”を設定する。 (1桁目はコード番号、2桁目は改定番号)
3	自動車の種別	全角 4	“軽自動車”を設定する。
4	用途	全角 2	検査証出力用に編集した用途を設定する。 (例) 乗用
5	自家用・事業 用の別	全角 5	検査証出力用に編集した自家用・事業用の別を設定する。 (例1) 自家用 (例2) 事業用・適
6	車体の形状	半角 3	車体の形状コードを設定する。 (例) 001 (箱型) ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“*”を設定する。 ※設定されていない場合は、“-”とする。
7	乗車定員 1	半角 1	乗車定員 1 を設定する。 (例) 4 ※けん引車の場合は、“-”とする。 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“*”を設定する。 ※設定されていない場合は、“-”とする。
8	乗車定員 2	半角 1	乗車定員 2 を設定する。 (例) 2 ※けん引車の場合は、“-”とする。 ※用途が乗用の場合は、“-”とする。 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“*”を設定する。 ※設定されていない場合は、“-”とする。
9	最大積載量 1	半角 3	最大積載量 1 を設定する (1 k g 単位)。 (例 1) 420 (例 2) 90 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“*”を設定する。 ※設定されていない場合は、“-”とする。
10	最大積載量 2	半角 3	最大積載量 2 を設定する (1 k g 単位)。 (例 1) 250 (例 2) 90 ※けん引車の場合は、“-”とする。 ※用途が乗用の場合は、“-”とする。 ※乗車定員 2 が未設定の場合は、“-”とする。 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“*”を設定する。 ※設定されていない場合は、“-”とする。

項番	内容	最大桁数	記事
11	車両総重量 1	半角 4	車両総重量 1 を設定する (1 k g 単位)。 (例 1) 1120 (例 2) 800 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“*”を設定する。 ※設定されていない場合は、“-”とする。
12	車両総重量 2	半角 4	車両総重量 2 を設定する (1 k g 単位)。 (例 1) 1020 (例 2) 800 ※けん引車の場合は、“-”とする。 ※乗車定員 2 が未設定の場合は、“-”とする。 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“*”を設定する。 ※設定されていない場合は、“-”とする。
13	車名	半角 3	車名コードを設定する。 (例) 131 (スズキ) ※6号様式で車名を入力した場合は、“-”とする。 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“*”を設定する。 ※設定されていない場合は、“-”とする。
14	走行距離計・ 表示値	半角 6	新走行距離計・表示値を設定する。 (例 1) 123000 (例 2) 0 ※設定されていない場合は、“-”とする。
15	走行距離計・ 区分	半角 2	新走行距離計・区分を設定する。 (例 1) km (例 2) mi ※設定されていない場合は、“-”とする。

【コード7】

項番	内容	最大桁数	記事
1	システムID	半角1	“K” 固定値
2	バージョン情報	半角2	“81” 固定値 (1桁目はコード番号、2桁目は改定番号)
3	車両番号	全角12	車両番号を設定する。 (例) “新宿△△580お△△△1” ・中板の場合 標板文字+分類番号+かな文字+一連番号 ・小板の場合 分類番号+標板文字+かな文字+一連番号 ※標板文字、分類番号、一連番号の桁数が足りない場合、マスタから標板文字の取得に失敗した場合は全角スペース埋めを行う。
4	車台番号	半角20	車台番号を設定する。 (例) “TEST-1111” 職権打刻車台番号の場合は先頭の2桁を[]で囲む。
5	車両ID	半角14	車両IDを設定する。 (例) “SYMMXXNNNNNC” 車両IDが設定されている場合は車両IDを設定。車両IDが設定されていない場合は半角スペースを設定。